

バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

〈これからの予定〉

●7月7日(土)  
14:00~16:30  
サイプレスガーデンホテル  
「女性学習会」



愛知県職連合女性部しんぶん



# あゆむ

第324号 (2018年6月)

発行 県職連合女性部

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号

愛知県東大手庁舎4階

直通 052(951)4036

FAX 052(972)0649

FAXフリーアクセス 0120(930)340

http://www.aichikenshoku.gr.jp

E-mail joseil8@aichikenshoku.gr.jp

発行責任者 間瀬雅子

## 退職者アンケート結果

### 働きつづけられた理由 職場、同僚、家族のサポート 求めるさらなる制度改善

女性部では毎年、年度末に退職された組合員を対象に「退職者アンケート」を行っています。アンケートでは、働き続ける上で支障になったことなどを聞き、50名の方から回答をいただきました。

### 退職者平均年齢 若年化の傾向

退職者の平均年齢は、全体で48・9歳でした。昨年の51・1歳と比べて2・2歳若くなっており、定年退職が多いものの若年層の退職が増えたことが考えられます。

退職時の年齢は、事務職は一般事務が56・1歳、その他事務が56・3歳、技術職ではその他技術が54・3歳でしたが、技術職のうち

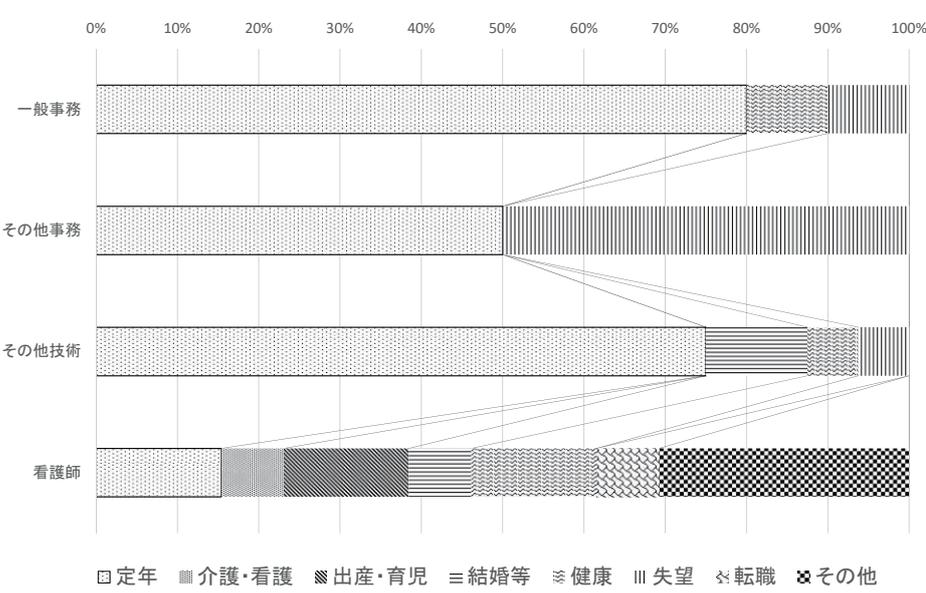
看護師は37・8歳と、他の職種より低い年齢となっています。ほとんどが地方機関の所属からの回答で、退職時の職級は、主査級以下が43・7%、課長補佐級が29・2%、課長級は27・1%となっています。定年退職時の職級は91・1%が補佐級以上でした。

### 退職理由 半数超えが定年

退職理由は、回答者の56・1%が定年と回答しています。事務職では75%が定年退職ですが、技術職の定年退職は48・2%で、うち看護師では定年退職の割合が15・4%と昨年と同様低くなっています。

全職種の複数回答では、定年退職以外に「自分の健康上の理由」「仕事・職場に展望がもてない」「転職が目立ちました。その他の理由としては、

一番強い退職理由はなんですか。



「家族状況の変化」を上げられた方がありました。

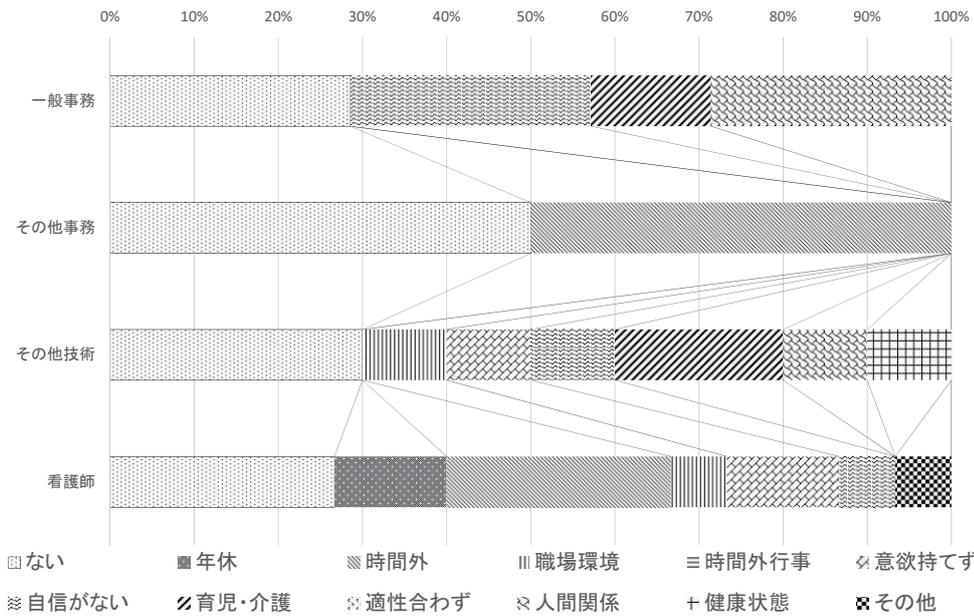


## 7割以上

### 「辞めたいと思った」

働き続けるなかで、昨年同様7割以上の方が「辞めたい」と思ったことがある」と回答しています。

一番強い辞めたい理由はなんでしたか。



最も強い理由としては、「時間外勤務が多かった」

「自分の能力・技量に自信が持てなかった」「育児・介護が大変だった」「人間関係に疲れた」「仕事に意欲が持てなかった」などの

理由があがりました。複数回答であげられた主な理由は、「時間外行事が多かった」「自分の能力・技量に自信が持てなかった」「自分の健康状態が悪かった」「年休などの休みがとりづらかった」でした。特に、看護師などの技術職では、時間外勤務の他に時間外行事も多く、休みがとりづらい、その結果職場環境が悪化し人間関係に疲れ、意欲も持てなくなり、退職につながる傾向が見受けられました。その他の理由としては、「遠距離通勤」などがささられています。

## 働き続けられた理由

職場環境・同期同僚などのサポート(48%)、家族の理解(32%)、自分や家族が健康(16%)、仕事のやりがい(10%)、権利保障の充実(8%)などの意見がありました。

## その他意見等

◇病気をしても療養休暇、補償があったことは大変助かりました。職場に育児・療休の人が多く大変、正規職員で補充を望みます。  
◇30年程前はまだ年休以外の休みが整備されてなく、育児と仕事の両立は大変でした。現在の皆さんはいろいろな制度を利用してぜひ働き続けてください。  
◇育児休業がなかった時代でした。産後8週での復帰は大変でした。育児休業取得がしやすく理解ある職場の環境づくりを周囲の「女性」がもっと意識すべきだと思います。

家族の理解・職場仲間のサポートに加え、出産・育児に関する休業制度等の拡充など、女性が働き続ける環境は少しずつ整ってきています。一方で、時間外勤務の多さ、人間関係の悩みや健康不安などが依然として目立ちます。

女性の生き方の多様性が広がる中、様々な立場の方がお互いに快く協力し、健康でやりがいをもって仕事を続けるためには、ゆとりある職場環境の整備が不可欠と考えられます。

**女性部レク お待ちしてま〜す!**

日 時：10月13日(土)  
内 容：フランス料理と昼鵜飼、犬山贅沢ツアー

募集人員：50名  
※名鉄犬山ホテルのフレンチをいただき、昼鵜飼を楽しんだ後は、話題の国宝犬山城など城下を散策します。  
※詳細は後日お知らせします。

女性部として何ができるかを課題として、誰もが充実した人生を過ごせるフーライフバランスの確立を目指し、さらなる制度改善を求めていきたいと考えます。

# オズオズ!! 私の押し

## 動物さんに行こう! 東山動植物園!

今や超有名なニシローラ  
ンドゴリラのシヤバーニヤ  
フクロテナガザルの人気で  
知名度アップの東山動植物  
園!



残念・・・  
シヤバーニ他14頭の動物は  
展示施設の引っ越しに伴い、  
6月から約3ヶ月間にわた  
り非公開となります。

〒464-0804 名古屋市千種区東山元町3-70  
TEL:052-782-2111 (代表)  
入園料: 観覧券 大人(高校生以上) 500円  
中学生以下の入園料は無料  
入園時間: 午前9時～午後4時30分  
(閉園は午後4時50分)  
休園日: 月曜日(休日の場合は直後の平日)  
12/29～1/1  
アクセス: 地下鉄東山線「東山公園」駅下車  
3番出口より徒歩3分/  
※詳細は動植物園HPでご確認ください。

いに行くことが休日の楽し  
みの一つです。

カバの重吉の心底幸せそ  
うな横顔に見とれて時を忘  
れ、サイの堅そうな胴体に  
太古の恐竜の姿を重ねたり  
カンガルーののどかな表情  
に思わず写真をパチリ☆  
この日はダチヨウの「社  
長」と「部長」には会えな  
かったけれど、次は会える  
かな?

スカイタワーでの高い所で  
の食事もステキです。今度  
はいつ行こうかな。

(常任委員 東條 かおり  
コロニーごと学園)

## アートなひとときを 古川美術館

古川美術館は、名古屋市  
千種区にあり、横山大観や  
前田青邨、上村松園などの  
近代日本画の他、油彩画や  
陶磁器などを所蔵していま  
す。所蔵品展以外に様々な  
企画展を開催しています。  
展示室もちよつと良い規  
模の広さなので、静かに  
ゆっくり楽しむことができ  
ます。また、すぐ近くには  
初代館長古川爲三郎の数寄  
屋建築の私邸が、「爲三郎  
記念館」として公開されて  
います。



美術館外観 (写真: 美術館提供)



爲三郎記念館外観  
(写真: 美術館提供)

館内の「数寄屋カフェ」  
では、日本庭園を眺めなが  
ら、抹茶セットや珈琲など  
を楽しめます。

(常任委員 小川 はるみ  
名古屋東部県税事務所)

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2丁目50番  
TEL: 052-763-1991  
アクセス: 地下鉄東山線 池下駅1番出口より  
東へ徒歩3分  
地下鉄東山線 覚王山駅1番出口より  
西へ徒歩5分  
開館時間: 午前10時から午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
休館日: 月曜日  
※詳細は古川美術館HPでご確認ください。

## 新役員紹介

4月の人事異動等により、  
本部役員に欠員が生じ、補  
充選挙を行い新役員が決定  
しました。

どうぞよろしく  
お願いします

女性部長

宮前 奈美子  
(尾張福祉相  
談センター)

事務局長

加地 恭子  
(畜産課)

常任委員

林 永梨  
(一宮児童相  
談センター)

大野 早紀子  
(知多福祉相  
談センター)

※5回にわたり、愛知の花に関して紹介します。



## 花の王国あいち Vol.2

キク  
産出額  
全国1位

バラ  
産出額  
全国1位

# あいちの花の生産55年連続日本一です！ Flower Kingdom, Aichi



ものづくり産業のイメージが強い愛知県ですが、実は花の生産が昭和37年から55年連続で日本一の「花の王国」であります。

農林水産省の生産農業所得統計によりますと、平成28年の愛知県の花の生産額は572億円で、2位の千葉県約3倍です。

一方で、花の消費状況を見ると、総務省の家計調査によりますと、平成29年の「切り花」の年間支出金額は、名古屋市で一世帯当たり7,573円です。都道府県の県庁所在都市別の順位は全国で31位で、生産状況と比較して消費は活発ではありません。

このため、愛知県は、平成25年からあいちの花を暮らしの中に取り入れてもらう花いっぱい県民運動を展開しています。またこの取組は、県と生産者団体、市町村、流通業、小売業、消費団体などが連携して実施しているもので、「花の王国あいち」のPRや花のあ

### 平成30年度「今月のあいちの花」

|    |                |     |             |
|----|----------------|-----|-------------|
| 4月 | デルフィニウム (切)    | 10月 | ピンポンマム (切)  |
| 5月 | ポットカーネーション (鉢) | 11月 | アナスタシア (切)  |
| 6月 | バラ (切)         | 12月 | ハボタン (鉢)    |
| 7月 | コショウラン (鉢)     | 1月  | 和物類 (鉢)     |
| 8月 | アナス類 (鉢)       | 2月  | デンドロビウム (鉢) |
| 9月 | スプレーギク (切)     | 3月  | スイートピー (切)  |

(切) 切り花 (鉢) 鉢もの

る暮らしの提案などを行っています。

この取組では、毎年多くの活動を行っています。その取組の一つが、今回御紹介する「今月のあいちの花」です。

花」です。

これは、県民の皆様が季節ごとに暮らしの中に取り入れやすく、花屋で入手しやすいものを考慮して御提案するものです。

「今月のあいちの花」の展示は、毎月月初めの知事定例記者会見と、その後本庁舎正面玄関横で行っていますので、近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。そのほかにも、中部国際空港や、豊橋駅、その花の生産額が多い市町村の庁舎でも展示をしています。



(中部国際空港での展示・平成30年4月)



(豊橋駅での展示・平成30年4月)

例えば、今年の4月は、デルフィニウムでした。爽やかな青色の可憐な花が道行く人々を魅了していました。

花は生活に潤いと癒しを与えてくれます。皆さんも、「今月のあいちの花」を参考に、是非あいちの花を生活に取り入れてみてください。忙しい日々の中にも、心安らぐ瞬間が生まれることを願っています。

(園芸農産課・津田千織)